

「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

第3期 管理職養成学校ニュース



2023年9月22日発行 (No.1) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

第3期管理職養成学校が開校しました！！

去る8月24日、24名の受講生を迎え、送り出し法人の関係者、講師の先生方が見守る中、全国会議としては3期目の管理職養成学校開校式（ZOOM 配信）を開催することができました。養成学校の内容、意義などを全国の会員の皆さまにお伝えできるよう、今期も継続してニュースを発行し、学びの様子を届けていきます。第1号は、開校式の模様をお伝えします。

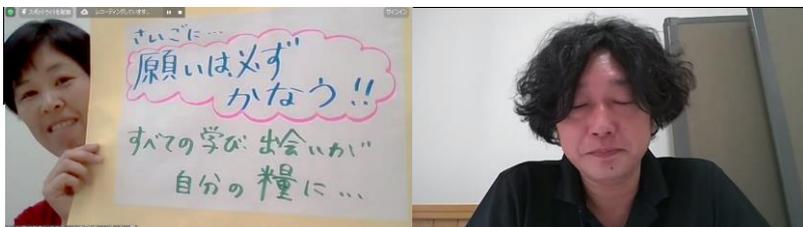
開校式開催の趣旨は、養成学校開催の意義を分かち合うことにより、学習意欲を高めるとともに、受講生間の連帯感を築く契機とすることです。加えて、養成学校のプログラムやねらいについて、受講生・送り出し法人双方の共有を図ることも重要となります。



冒頭、主催者挨拶に先立ち、8月18日に永眠された吉川幸志さん（同友会主催養成学校 第1期生・こぼと会）のご冥福を祈り、暫し黙祷を捧げました。その後、茨木会長からは、大変だからこそやりがいのある養成学校。福祉をめぐる情勢が厳しい中だからこそ、その学びを法人で活かしてほしい、という激励をいただきました。学校生活のスタートにふさわしいお話でした。

続いて、養成学校長の浜岡先生からは、養成学校は「管理職とは何か」、を徹底的に考え抜く場というお話がありました。また、これからの学校生活については、受講生が共同する場であり、決して孤独な学びにはならないこと、卒業後の連帯を育む場でもあると言及されました。そして、孔子の「之を知る者は之を好む者に如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず」を引用し「学びを楽しみながら、管理職として成長してほしい」とご挨拶をいただきました。

そして、プログラムは第2期卒業生代表によるプレゼンテーションに移ります。いちにわたりのこの会の泉真美子さんは、「養成学校に行って良かった3つの理由」「すべての学び、出会いが自分の糧になった」と述べ、続く、青陵会の折橋潤弥さんからは、養成学校の取り組みを「真の福祉を求めて走り続ける新時代のロマン」と表現し、「辛いこと、しんどいことに意味を持って取り組んでもらいたい」とのエールを受け取りました。2名の先輩プレゼン実演（デモンストレーション）は、限られた時間内で養成学校の学びのイメージを届け、且つ励ましを伝えるものとなっていました。第3期受講生の皆さんは、先輩から手渡されたバトンを実感できたのではないのでしょうか。



受講生の皆さんより、現在の率直な気持ち、モチベーションが何%かをお聞きしたうえで、お一人ずつ自己紹介をしていただきました。「不安がいっぱい！」「大変なところに来た！」という率直な思いを吐露する方から、「ずっと待ってた！」「モチベーション130%！」と語る方まで、様々な思いが出されました。それぞれの表現形態は違えども、現在の自分の課題に向き合い、仲間と共に頑張って学んでいきたいという意欲がしっかり伝わってきました。



このような決意表明を受け、講師団を代表して、第1講座を担当される垣内先生（多摩福祉会前理事長）からは、「管理職にはなかなか相談ができる場所がないが、養成学校には充実した事務局体制（担任制）があるので安心して学んでほしい。そして、学校では、自分自身を開示してオープンマインドで学びに臨んでほしい」「私たちは、受講生と共に日本の福祉の未来を見つけたい。社会に影響力ある法人経営を確立させる力を習得しよう」との力強いメッセージをいただきました。



その後は、事務局による養成学校の流れの説明を挟んで、送り出す側の法人を代表して、育和会（東京都）の飯田理事長より、あたたかい励ましの言葉をいただきました。今年度、全国会議に加盟したばかりとことでしたが、「分野を超え、様々な種別が結集し運動を進められることに加え、養成学校受講も全国会議の魅力。



受講者の学びを通じて自らも学び法人運営に活かしていきたい。受講者の学びを通じて、日本の福祉が良くなっていくことを期待したい」とのお話に身が引き締まる思いでした。そして、最後、閉会挨拶では、研修委員会の小早川理事より、「学びも友情も自らたぐり寄せて、たくましい賢者として帰ってきてほしい」というエールが寄せられ、第1部は閉会となりました。



休憩を挟んだ後は、第2部の受講生オリエンテーションに移っていきます。事務局からの具体的な説明を通じて、これからの養成学校の学びのイメージがより明確になったことと思います。また、この日、第2部まで見届けていただいた垣内先生から、受講生に労いの言葉をかけていただいたことも何よりでした。最後に、ゼミごとに顔合わせをおこない、ようやく緊張が解けた様子も確認して、全編終了となりました。

さて、以上のように、養成学校第3期の「大航海」が幕を開けました。東（北）は宮城から西（南）は鹿児島まで、全国から24名の受講生が集ったことについては、養成学校へ寄せられる大きな期待とともに、民主的経営の担い手である管理職養成の課題が急務であることも、同時に痛感するところです。このような重みを、学校事務局一同、あらためて感じながら、第3期の運営を進めていきます。引き続きご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。



第1回講座 9月28日(木) 講師 垣内 国光氏 テーマ「管理職に求められるもの」